2026 年 11 月 26 日
日本キヤリア株式会社

日本キヤリア、「PRIDE 指標 2026」で 3 年連続「ゴールド」認定を受賞

ー LGBTQ+を含むすべての社員が自分らしく働ける職場づくりに向けて継続的注力 ー

日本キヤリア株式会社（本社：東京都品川区）は、一般社団法人 work with Pride が主催する「PRIDE 指標 2026」において、最高評価の「ゴールド」認定を受賞しました。2024 年の初受賞以来、3 年連続でのゴールド認定となります。

当社は、気候変動やエネルギーといった問題に対するインテリジェントなソリューション提供で世界をリードする Carrier Global Corporation (NYSE:CARR)の傘下です。

「PRIDE 指標」は、LGBTQ+など性的マイノリティが働きやすい職場づくりを日本で実現するため、一般社団法人 work with Pride が 2016 年に策定した、日本で初めてとなる LGBTQ+に関する企業・団体等の取り組みの評価指標です。

日本キヤリアでは、すべての社員が尊重され、自分らしく能力を発揮できる職場環境の実現を目指し、「インクルージョン＆ダイバーシティ（I&D）」を推進しています。2023 年 5 月に発足した Carrier Japan I&D カウンシルを中心に、LGBTQ+およびアライシップに関する社内啓発をはじめ、多様な人材、文化、価値観を尊重するための取り組みを継続して進めています。

以下は 2026 年に実施した具体的取り組みです。

1.「東京プライド 2026」にブース出展、協賛（6 月）。
日本オーチス様とブースを共同運営。社員ボランティアが LGBTQ+への支援を示すレインボーリボンを身に着け、東京プライドに関するクイズやレインボーカラーをテーマとしたノベルティ配布、両社の多様性への取り組みの紹介を通じて来場者と交流し、LGBTQ+や多様性への理解促進を図りました。

2.「LGBTQ＋関連セッション～誰もが自分らしく働ける職場をつくるために～」を開催（10 月）。
Carrier 従業員リソースグループ PRIDE 議長が自らの経験や多様性を尊重する職場について講演。社内参加者に加え、I&D 活動で交流のある小林製作所（静岡県・富士市）、当社がスポンサーを務める國學院大學女子バレーボール部からもご参加を頂き、LGBTQ+への理解を深め、アライシップについて考える機会としました。

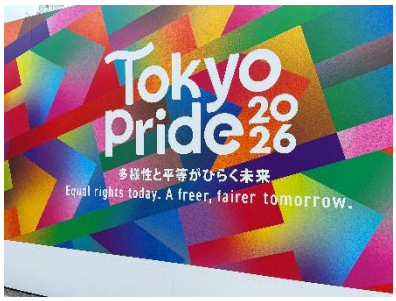
今回の 3 年連続となる「ゴールド」認定は、こうした継続的な取り組みが評価されたものです。

日本キヤリア代表取締役社長 丸山 峰生は、次のようにコメントしています。
「PRIDE 指標における 3 年連続ゴールド認定を大変喜ばしく受け止めています。初認定の 2024 年から、社員一人ひとりの理解と行動によって、互いの違いを尊重し、誰もが自分らしく働ける文化が着実に根づいてきました。多様な人材が力を発揮できる環境は、新たな発想やイノベーション、そして企業の成長につながります。今後も LGBTQ+コミュニティへの理解と支援を深め、すべての社員が尊重され、安心して力を発揮できる環境づくりを進めてまいります。」

日本キヤリアについて
日本キヤリアは、エネルギー効率に優れた製品を統合したサステナブルなソリューションを家庭用、店舗・ビル用、工場用途としてお客様に提供しています。日本キヤリアは、快適で安全、持続可能な暮らしのためのイノベーションに尽力し、気候変動やエネルギーといった問題に対応するインテリジェントなソリューション提供で世界をリードする Carrier Global Corporation (NYSE: CARR)の日本法人です。

Carrier. For the World We Share.
わたしたちが分かち合う、この世界のために

work with Pride
PRIDE Gold 2026









■本ニュースリリースについてのお問い合わせ先
日本キヤリア株式会社　広報室
Mail:　mikiko.katou1@carrier.com